



(596号付録)

京都版 第453号

2024年2月15日

治安維持法犠牲者

国家賠償要求同盟

京都府本部

〒604-8832 京都市中京区

壬生下溝町 51-41

TEL: 075-312-8787

FAX: 075-325-3863

E-mail

Info@kokubai-kyoto.com

ホームページ

<https://kokubai-kyoto.com>

京都市長選挙を振り返って

府本部長 原田 完

私たち国賠同盟京都府本部として推薦して、共に戦った福山和人さんは16万1203票を獲得、大健闘しましたが約1万6千票差と肉薄しましたが及びませんでした。

京都府本部は、今回の市長選挙は、門川市政の市民生活切り捨ての継承か市民の暮らしと生業のかかった選挙として位置づけ戦いました。

また、問題になっている自民党の裏金問題、底なしの金権腐敗政治、国民生活を切り捨てる

自民党政治。右傾化を強め戦前の治安維持法を正当化し謝罪

をせず、日本国民を含め甚大な被害をもたらした東アジアの侵略戦争に一切の反省謝罪をかたくなに拒む、自民党政治を終わらせる闘いと位置づけ戦ってきました。

市長選をめぐって自民党の裏金疑惑に怒りの高まりの中、こともあろうに松井陣営の会費1万円でミネラルウォーター一本という政治資金パーティーを開催していました。

福山さんの「政治家の仕事は、金を集めることではなく、市民の声を集めること」との訴えは

共感を呼びました。

福山さんは、行財政改革の名のもとで削減された住民サービスを元に戻すこと、子育て・暮らし全力応援の「すぐやるパッケージ」を公約して市民的共感を集めてきました。

松井陣営は、反共広告を地元紙に掲載し市民と共産党の共同を分断し、市民の願いを封じる攻撃を強めました。

福山陣営は、直ぐに反撃ビラを配布し、「大型開発から、暮らし優先の政治へ、お金で動く政治から市民の声でつくる政治へ時計の針を前に進めましょう」と訴え、最後まで猛奮闘しました。

「つなぐ京都2024」の報告会で事務局長から、門川市政は市民生活が大変な時に公共の役割を放棄し、大型開発による財政危機の原因を福祉にすり替え、行財政改革と称して敬

老乗車証の改悪、保育所への補助カット、学童保育利用料の引き上げなど強行しました。また、規制緩和とホテル建設の野放しなどで地価高騰、子育て世代の人口流出を深刻化させてきました。市政改革の展望を示した福山氏のマニフェストは大きな共感を最終盤まで市民と作る政治へと政策と財源を示し、松井候補を土俵際まで追い詰める戦いをしました。

市民の切実な要求を盛り込んだ「宝のマニフェスト」の実現に向け、引き続き奮闘する決意が述べられ全体で確認されました。

最後に梶川共同代表が「ここから新しい私たちのつながる取り組み」を呼びかけました。

京都府本部としても治安維持法制定100年を前に国による謝罪と賠償実現と共に市民要求運動を進めましょう。

年京都学連事件起訴により中退。学生たちはほぼ学園に復帰することなく、学連の労働者教育テーゼにしたがって「人民の中へ」とびこんでいった。

太田遼一郎も、労農党京都支部連合会や無産者新聞支局や産業労働調査京都支所で活動した。+1927年、片岡蔵相の東京・渡辺銀行破綻の発言が金融恐慌のきっかけとなり、モラトリアムが発令された。田中義一内閣発足とともに第一次山東出兵が発動した。評議会の工場代表者会議運動や対支非干渉運動が全国的に展開され、太田も労農党京都支部連合会常任執行委員兼政治部長となっていた。二月末の第一回普通選挙京都の一区、二区で労農党は、水谷長三郎と山本宣治を当選させた。これに恐れをなした田中反動内閣は3・15共産党弾圧を仕掛けてきた。太田は一九

二八年三月二日に入党した。学生事件では、八か月の言い渡しだったが、併合審判となった共産党事件一番では、三年六か月だったものが、二番では、「学生事件の予審第六回尋問調査中、(一部略)私は将来も社会科学は研究しようと思うが実際運動にはたずさわらぬようにしようと思う」といいながら、「共産党事件の予審第一回尋問調査中(一部略)日本共産党はマルクス主義の理論に合し居るので私は之に賛同し居りたる故、意を決して入党したる」旨の供述を犯罪事実として懲役4年と重くなった。太田は非転向で出獄した。ひとまず、父母のいる中国の天津に帰って、家業の製氷冷凍業と倉庫業の経営にたづさわり隆盛させた。一九三七年七月七日の蘆溝橋事件から日中戦争に拡大するころ、天津総領事館から懇請され

て総領事館経済部囑託になった。

「隠れマルキスト」として大陸にいきる

一九二五年夏、日本の植民地経営の実態を見聞するため満州にきた京大社研の先輩石田英一郎と天津で合流し、ともに北京に足をのぼした。北京では栗原佑の京都一中の恩師小島祐馬氏の紹介状をもって、明治自由民権運動の中江兆民の息子・丑吉を訪ねた。石田の祖父英吉は土佐の坂本龍馬の海援隊の隊士として明治維新をたたかい、男爵に叙されていた。中江丑吉(中国古代政治思想研究専攻)は「日本の前途を警世する人」で、満鉄調査部の囑託にもなっていた。また、中江サロンの常連の鈴江言一(中国現代史・中国解放運動専攻)も満鉄調査部囑託だった。太田は家業

のかたわら、ウィットフォーゲルの中国社会学論や農業論を研究したり、アグネス・スモデレーの中国共産党関連の著作を読み込んでいた。太田の交流圏には、渡政・山宣労働葬にかかわった京大社研の小倉倉一をはじめ、中西功などの満鉄調査部関係者がいた。敗戦後、朝鮮の釜山から苦勞して引き揚げ、九州の唐津で農漁村調査などをするうち、一九四八年農林省総合農業研究所九州支所につとめ、支所長になった。定年後の一九六三年春、熊本商科大学で農業経済学の講座を持った。一九六八年三月、定年退職。農学博士。プロレタリア短歌運動をつうじて、自由律短歌の新日本歌人協会会員。

【参考資料】

・現代史資料(45)みすず書房・学連事件第二審判決文
・「獄中にて歌える」太田遼一

「獄中に歌へる」

—京都学連事件の闘士

・太田遼一郎の軌跡

府本部副会長 佐藤 和夫

山宣追悼の長詩、
鐵格子の彼方の暗の中に

暗は深いか? いいや見ろ! 天の一角は裂け出した

朗らかな 澄明な青空に浮かび出づる 銅像の横顔よ!

おお それは同志山宣だ! 海



北京で太田遼一郎と栗原佑

のように自由な微風(そよかぜ)の吹く都市(まち)にちがひない、遠い1991年かのあなたは今こそ永遠の微笑を湛えてそこに立つ、光りは躍りたわむれる、吾がともの額に、唇に、碑銘の金文字に青空は消えた、暗はふかい、風はざわつく、聴けよだがあのひびきを!

ダイナモは唸る、奔る調帯(べる)から、サット撒かれたものは何だ? それは知らぬ顔でたかく鋭くふきいだされる

— 葬送歌の口笛よ、それは工場だ、燈火は燃える、あかぐろい額の上の汗と怒りよ、人々は黙してゐる、それは農家だ

プリントは刷りかけのままに、壁のポスターは裂かれてゐる、仲間はまだ「留守」か、それは組合の事務所だ、風は止んだ、夜の地上にうごめく者は、暗き抗から湧き出づる

百萬の群衆であろう、その上の空高く、白き幻の死屍は、しずかに横る、かのスパルタクス團の指導者の、それのごとく、荊棘(いばら)の花環もてその頭(こうべ)を飾られながら、しかも見よ! 鐵格子遠くはるかに、監房の窓のはしに、現れ出た、一つの星よ、そのしみらなる光は、この夜を護りかがやけ、吾が友の、額に、唇に、血に染められた白い薔薇に

1929、3、25

(補注・文章中の斜線は、もとの詩にはないが、編集の都合上、詩文の改行を示すため挿入。)

出版の期日は、発行人が山宣の盟友・田村敬男なのだから山宣刺殺後一周年を期したものだ。

詩の第一連の「1991年かの」の文言は「挫折した一九一九年のドイツ革命の中で、反革命勢力に虐殺された赤い薔薇のローザ・ルクセンブルグを忘れる

など暗示形式で呼び掛けているのだろう)

したたかな、遼一郎

本籍地は名古屋市中区流川町五拾番地(1905)(M三八)三月十三日生から一九六八(S四十三)年十一月十五日没。学歴は旅順中卒、旧制八高(名古屋)、一九二五年四月京都帝国大学経済学部入学。栗原佑らとともに、社会科学研究会に入社した。一九二五年七月に、学生社会科学連合会の第二回大会が京都で開催された。その年の十二月に同志社大学の掲示板に貼られた「軍事教練反対」のポスターを理由に学連メンバーは一斉検挙されたが、おおむね一週間で釈放された。しかし、翌年一月十五日以降、国内初適用の治安維持法違反事件として、38人が検挙された。半年で保釈されたが、一九二六

支部便り

郎・斎藤英三集、昭和五年三月五日刊、京都・共生閣、編集発行人は田村敬男。この奇観本は、

京丹後支部から

倉岡 和美

一九八一年暮れに、岡山県におすまいの岡一太さんの奥さんから著者のひとり斎藤英三さんに形見分けとして「納まるべきところに納めたい」との思いで寄贈されたものです。まわりまわって同書は、治安維持法犠牲者の顕彰運動の原田完会長に贈呈されました。斎藤英三氏は日本労働組合評議会京都地方評議会常任委員長で、3・15事件で検挙され京都刑務所上京支所に二年未決拘留されていました。一九二八年四月十日に労農党・評議会・無産青年は解散命令が出されました。

・「続 「未完の回想」(栗原 佑・一九八三年十一月三十日発行) 書中の「太田遼一郎と私」栗原氏も京都学連事件の検挙者。

府本部の総会で「京丹後支部」の請願署名目標1000筆を頑張って達成すると発言しました。

活動を進める中、今まで多く集めて頂いた方々が、亡くなったり、体調不良や家族の介護などの事情で集めて頂けなくなり気持ちが少し落ち込む毎日でした。

私は、今までは居住地を中心に集めていましたが、今年は例年以上集めたいと思っています。

そんな時、友達にそんな気持ち話をすると「署名用紙」を頂戴、私も集めてあげると言ってもらいました。そして、後日、数十名の署名を集め持ってきてくれました。

この友達のおかげで落ち込んでいた気持ちが吹っ切れ、一歩踏み出そうという気持ちになりました。

今、春までに例年の二倍くらい集められた良いなと思っています。この思いが実現できるように頑張ります。

☆「墓前祭プレ企画」
日時：2024年3月2日(土)
午後1時半～4時半

会場：ゆめりあ・うじ

JR宇治駅前

映画：「武器なきたたかい」
山本薩夫監督作品

参加費：無料

宇治洛南支部から

事務局長 藤原 元幸

☆「駅頭宣伝」

①近鉄大久保駅
日時：2月21日(水)
午後5時半～6時半

山宣墓前祭を成功させましょう

☆「第95回山宣墓前祭」

日時：2024年3月5日(火)
午後12時10分～
午後5時半～6時半

会場：宇治善法寺墓地

山本家墓前前

【連絡先】

☆墓前祭終了後、「

宇治市職員労働組合

「ミニ」山本宣治を語る交流会」

07741・22・5653

時間：午後2時～4時

国賠同盟宇治洛南支部(藤原)

会場：花やしき大広間(予定)

080・6131・1265